

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	新光電気工業株式会社					
代表者名	氏名	倉嶋 進	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市小島田町80番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 8 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	リードフレーム、PLP（プラスチック・ラミネート・パッケージ）ガラス端子等の半導体パッ					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	67, 410	86, 912	70, 634		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	135, 353		139, 207		
調整後排出量	t-CO ₂	106, 818	96, 787	89, 308		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	1, 250		896		
自動車の台数	台	26		33		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	71				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度	2023	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	弊社本社受付に閲覧資料を常備（平日 9：00～17：00） 連絡先：本社 更北工場 施設技術部 026-283-2861 長野県温暖化対策計画書制度 担当まで （ホームページ上での公開準備中となります。）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

SHINKO Wayの実践を通じ、地球環境と企業活動の調和を基本理念とし、「ものづくり」を通じて地球環境の維持向上に貢献する。

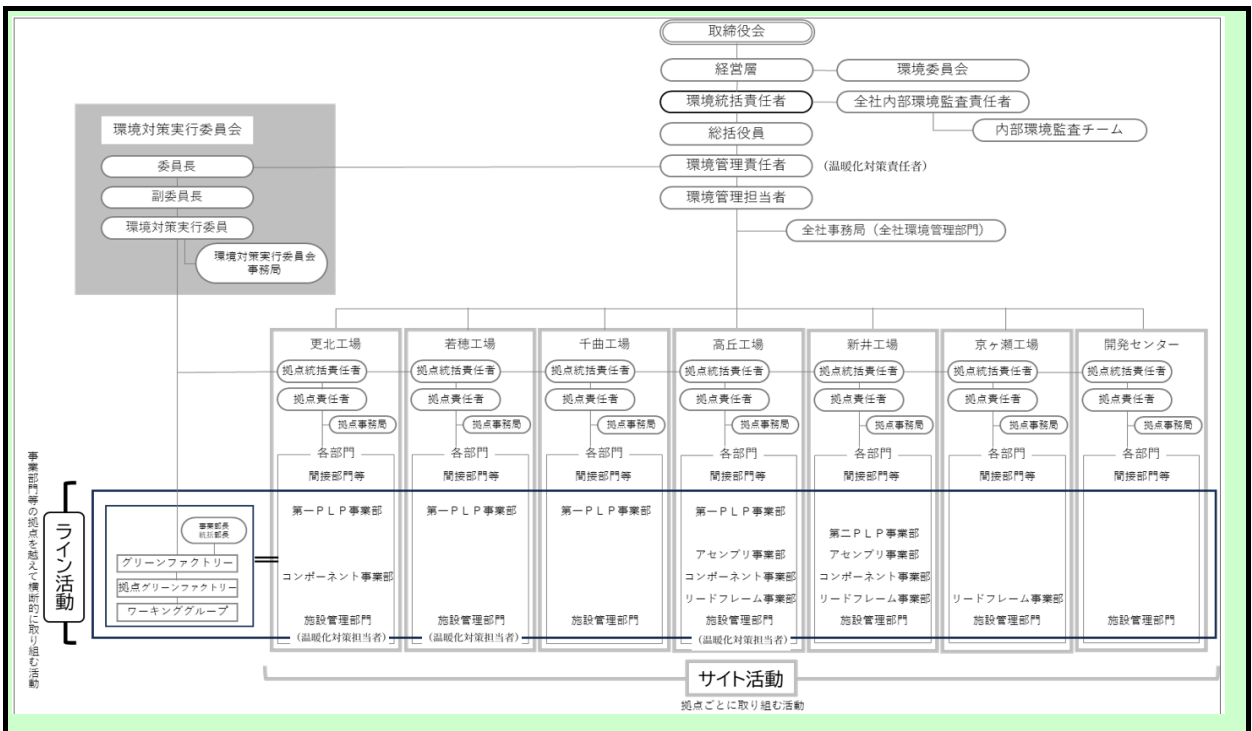
【行 動 指 針】

1. 環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、環境負荷を低減する。
2. 自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防する。
3. 国内外の環境規則および要求事項を順守し、社会的責任を遂行する。
4. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的改善をはかる。
5. 気候変動対策や資源の有効利用、生物多様性保全により豊かな社会づくりに貢献する。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030、 2050	年度	削減目標	2030年…2020年度比CO ₂ 量56%削減（SBT準拠）、再生可能エネルギー使用率100% 2050年…温室効果ガスの排出を全体としてゼロ
削減計画の概要	目標達成に向け、以下の方針で取組を進めている。 ・既設設備については、IoTを活用し効率的な運用を実施する。 ・毎年3,000t-CO ₂ の排出量削減に取組む。 ・不足分については非化石証書と低炭素電力を購入する。					
イニシアチブ 参画状況	■ SBT	■ RE100	□ 再エネ100宣言 RE Action	□ その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

工場別にCO₂排出量削減、廃棄物削減・水使用量削減を議題に「グリーンファクトリー推進部会」を1回/月開催し、取り組み状況の確認と施策の水平展開をはかる。

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1,250	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	896	t-CO ₂			単位	
	削減率	28.32	%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	71	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	熱源設備	高効率冷凍機の導入及び冷水供給体制の合理化	2023～ 2025	680		
2	エネ起	空調機	空調運転改善施策の実施 空調方式の改善（廃熱のリサイクル化）	2023～ 2025	330	2023	359.05
3	エネ起	コンプレッサ	コンプレッサ運転改善の検討、実施 高効率機の導入・INVドライバーへの切替	2023～ 2025	230		
4	エネ起	照明設備	LED機器の導入	2023～ 2025	570	2023	326.58
5	エネ起	発電設備	太陽光発電	2023～ 2025	625	2023	181.78
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	90	1,000	485		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年	52,027	削減目標に対する不足分	75,435		
非FIT非化石証書（再エネ指定）	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット （森林CO ₂ 吸収評価認証制度等）	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 （自家消費、PPA、自己託送等）	千kWh/年	90	1,393	461		
再生可能エネルギー電気 （小売電気事業者からの買電）	千kWh/年	11,524	削減目標に対する不足分	35,697		
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上	3	135,251	3	136,465				
1,500kl以上 3,000kl未満	0	0	0	0				
1,500kl未満	4	101	5	2,741				
合計	7	135,353	8	139,207				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	12	3		
CH ₄	901	4		
N ₂ O	336	34		
HFC	0	0		
PFC	0	854		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	1,250	896		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	2	2		
その他 (ハイブリッド等)	8	8		
合計	10	10	0	0
自動車総数	26	33		
次世代自動車導入割合	38.5	30.3		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	環境月間の取組み等にて、公共交通機関の利用紹介等啓蒙活動を実施
自転車の利用促進	通勤方法変更届け出にて自転車利用が可能な制度になっている
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	車輦での来社以外に、鉄道、バスでの方法を適宜紹介 エコドライブ啓蒙活動の実施、社有車（環境配慮型）の利用促進の実施
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	社有車をEV車への切替え計画、充電設備設置計画有り（2024年度）
物流の合理化	定期トラック便を社内運用しており、工場間の資材移動を効率運用

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
<input checked="" type="checkbox"/>	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2022年
<input checked="" type="checkbox"/>	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	2022年
<input checked="" type="checkbox"/>	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001	1995年
<input type="checkbox"/>	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/>	ZEB	の認証を取得している	
<input type="checkbox"/>	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	SDGs・ESGに配慮した経営に重点課題を置き取り組んでいる	2020年～

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

<p>工場別にCO₂排出量削減、廃棄物削減・水使用量削減を議題に「グリーンファクトリー推進部会」を1回/月開催し、取り組み状況の確認と施策の横展開をはかる。</p> <p>施設部内でも「第二部会（CO₂排出量削減部会）」を1回/月開催し、部内での取り組み状況の確認と施策の共有化・横展開をはかる。</p> <p>”環境ビジョン2050”を策定</p> <p>環境ビジョン2050達成に向け段階を踏んで実施計画立案・進捗管理を実施</p> <p>”第11期環境行動計画”（2023年から2025年度までの3年間の活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出量削減 <ul style="list-style-type: none"> → 国内全事業所におけるCO₂排出量を2020年度排出量の28%以上削減 → 再生可能エネルギー使用率を毎年4%以上拡大 ・廃棄物発生量削減 <ul style="list-style-type: none"> → 施策による削減量を、2020年度廃棄物排出量の23%（1,375t）以上積み上げる ・水資源使用量削減 <ul style="list-style-type: none"> → 施策による削減量を、2020年度水使用量の3%（114,810m³）以上積み上げる ・生物多様性の保全 <ul style="list-style-type: none"> → 飯綱町における町有林整備、栗田総合センターにおける生物多様性保全 ・グリーン調達活動推進 <ul style="list-style-type: none"> → サプライチェーン上流におけるCO₂排出量削減の取り組みの推進と水資源保全意識の強化
--